

市報やまぐち

2016

4/1

April
No.252

表紙 春が来た

特集 平成 28 年度 当初予算とまちづくりの概要

三つの創生

新 地方創生戦略推進事業

平成 27 年度 3 月補正を含む 7,000 万円

※2
山口市生涯活躍のまち（CCRC）構想および基本計画の策定、アクティブシニアや若者の活躍の場づくりをはじめ、産学官金労言の連携のもとで、域外から資本等と呼び込む地方創生の重点的な取り組みを進めます。

※2 Continuing Care Retirement Community の略。

充 子ども芸術体感事業

870 万円



山口情報芸術センターと連携し、小中学校で体験型ワークショップを実施したり、体育館を会場に演劇や音楽公演を実施したりするなど、子どもたちの感性を育む取り組みを進めます。

充 クリスマス市の推進事業

891 万円

サンタクロースの故郷、フィンランドのロヴァニエミ市と交流を深め、クリスマス都市観光パートナーシップ協定の締結を目指し、「日本のクリスマスは山口から」のPRに取り組みます。

創生 1 やまぐち魅力 創生

新 山口観光維新DMO推進事業

※1
平成 27 年度 3 月補正 850 万円

観光、アート、スポーツ、農林水産業等、多様な関係者や市民の皆さんと一緒に観光地域づくりを進めるため、観光需要調査、体制整備の検討、観光コンテンツ創出に向けた調査業務等を実施します。

※1 Destination Management/Marketing Organization の略。

充 我がまちスポーツ推進事業

2,350 万円



- ・トップアスリートによるスポーツ教室の開催
- ・スポーツボランティアの育成等の支援
- ・「レノファ山口FC」と連携したシティセールスや子供向けサッカー教室
- ・東京オリンピック・パラリンピック出場国のキャンプ地誘致
- ・自転車等を活用した交流人口拡大事業
- ・全国規模のスポーツ大会の誘致支援

凡例

新 …新規事業

充 …拡充事業

続 …継続事業

平成 28 年度予算イメージ図

「これが私の故里だ 定住実現都市」予算

都市・生活空間創生

人材・雇用創生

やまぐち魅力創生

三つの創生

- ・「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」やまぐち地方創生100プロジェクトの推進
- ・山口市総合計画（第9次実行計画 H28-H30）の推進

未来活気「三つの創造」

日常生活圏を形成する協働によるまちづくり

高次都市機能が集積する広域県央中核都市づくり

市民生活「四つの安心」

安心して 子育てや教育ができるまちづくり

安心して 安全に暮らせるまちづくり

安心して 歳を重ねられる健康長寿のまちづくり

安心して 働ける産業力の豊かなまちづくり

市民満足度を高める行政マネジメントの強化

平成 28 年度

当初予算とまちづくりの概要

問 企画経営課
財政課
083・934・2747
083・934・2750

本市は、山口市総合計画のもとで、「未来活気三つの創造」としての「広域県央中核都市づくり」と「協働によるまちづくり」、市民生活「四つの安心」としての「雇用・産業振興」、「子育て・教育」、「防災」、「健康長寿」に取り組みながら、定住実現都市づくりを進めています。同時に、昨年10月に策定した「山

これが私の故里だ 定住実現都市

口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、定住促進と少子化対策という、最重要課題への重点的な取り組みとして「やまぐち地方創生100プロジェクト」を展開しています。そこで、新年度においては、総合計画のもとでの各分野におけるまちづくりと、「やまぐち地方創生100プロジェクト」のもとに、平成28年度予算を「これが私の故里だ定住実現都市」予算と位置付け、本市の個性を際立たせ、定住や交流・対流を創出していく「三つの創生」を重点的に推進し、「山口に住んでみたい、住み続けたい」と、市内外の多くの方が共感していただけるまちづくりを進めます。

三つの創生

創生 1 やまぐち魅力創生

市内外の多くの方々が本市の魅力や誇りに共感し、交流創出や定住促進につながるように、教育・アート・観光・スポーツ等の各分野において、本市全体や各地域の個性を際立たせ、若者層やファミリー層をはじめとした幅広い世代で、「山口は

いいね。グッドだね」と共感できるような山口のファン（YAMA-good・ONE）を増やし、域外から資本等呼び込む取り組みを行います。

創生 2 人材・雇用創生

各地域、各分野における人材や才能を本市に誘致する「人材誘致」の取り組みを進めます。同時に、企業誘致をはじめとした各産業分野における地域雇用創出を強化し、山口に新たなひとの流れ、しごとを創ります。

創生 3 都市・生活空間創生

広域県央中核都市づくりとしての高次都市機能の集積と都市圏形成、協働によるまちづくりとしての日常生活機能の確立と日常生活圏の形成を図り、本市全体や各地域において、人材や才能をひきつけ、新たな定住や雇用を創出する快適な都市空間と生活空間を形成します。また、本市や県中部エリアの各地域がつながり合えるネットワーク機能の強化を図り、「コンパクト＋ネットワーク」の形成を進めます。中心的な拠点と各地域がそれぞれの特性を生かし、若者をはじめとした東京圏から地方への定住の受け皿づくりとしての都市・生活空間の基盤整備等を進めます。

新 妊娠・出産包括支援事業 1,166 万円



「子育て世代包括支援センター」を設置し、安心して妊娠・出産・子育てができるように、お母さんとお子さんの心身の健康をサポートします。

安心 2 安心して子育てや教育ができるまちづくり

続 プレミアム商品券発行事業と安心快適住まいの助成事業 2 億 3,400 万円



市内小売店や飲食店などで利用できるプレミアム商品券を発行します。また、住宅リフォーム工事費用の一部について、市内商工団体が発行する商品券として補助します。

安心 1 安心して働ける産業力の豊かなまちづくり

四つの安心

安心 4 安心して歳を重ねられる健康長寿のまちづくり

新 介護予防・生活支援サービス事業＜特別会計＞ 7,997 万円

10 月から、従来の介護予防事業の利用者や新規要支援認定者のうち、新たな訪問介護・通所介護サービスの利用対象となる方に介護予防・生活支援サービスを実施します。

新 介護人材育成・確保支援事業 100 万円

市内の介護サービス提供事業者、高校・大学等の福祉分野の教育関係者、行政等の関係者で協議会を設置し、介護人材の確保や定着に向けて、連携を図ります。

続 総合浸水対策事業 6 億円

雨水貯留施設、取水ゲートの自動化の整備、公共施設の雨水浸透ますの設置、個人住宅の雨水貯留タンクや雨水浸透ます設置費用への助成、啓発パンフレットの作成などを進めます。

充 空家等適正管理事業 3,146 万円

新たに「空家対策室」を設置し、市内全域・全戸の空家の実態調査、空家対策計画の策定、危険な空家の解消に対する支援の他、適切な維持管理の啓発を行います。

市民満足度を高める行政マネジメントの強化



続 山口市総合計画策定と本庁舎整備の方向性の検討 300 万円

平成 30 年度から平成 39 年度までを計画期間とする「第 2 次山口市総合計画」の策定業務を進めます。また、山口市本庁舎の整備に関する検討委員会において、本庁舎の整備の方向性を引き続き検討され、平成 28 年度に答申をいただきます。なお、平成 27 年度末の庁舎建設基金積立金残高は約 43 億円です。

三つの創生

新 UJI ターン就労支援事業 317 万円

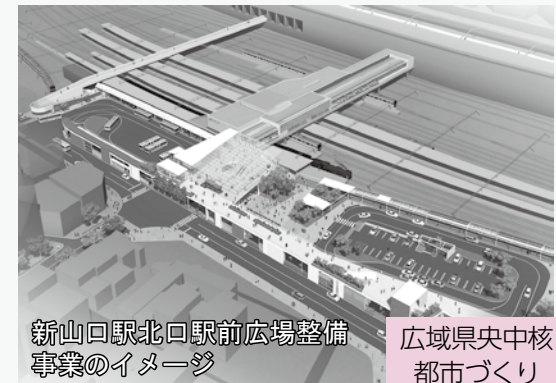
過疎地域の商業・サービス業等の事業者の廃業で、地域の生活機能が低下しないように、事業者と UJI ターン希望者のマッチングや事業承継を進めます。

充 企業誘致の新たな受け皿づくり 1 億 1,639 万円

産業団地の分譲可能区画が少なくなってきたことに対応するため、新たな産業団地の整備に向けた取り組みを進めていくと同時に、市有産業団地に立地する企業所有の未利用地を取得します。

三つの創生

続 新山口駅ターミナルパーク整備事業 23 億 5,700 万円



新山口駅の北口駅前広場のバスシェルターやビジターセンターの整備、南口駅前広場内の歩道部分の工事、既存自由通路の改良工事、駅前通りの工事等を実施します。

充 持続可能な公共交通の構築 3 億 4,552 万円

持続可能な公共交通の構築を引き続き図るため、グループタクシー利用における最寄りの公共交通機関までの距離要件を一部緩和する等します。

協働によるまちづくり

創生 2 人材・雇用 創生

充 外部人材活用事業 8,000 万円



地域のブランド化や特産品開発に取り組む「地域おこし協力隊」を現在の 8 名から 20 名に増員します。観光・スポーツ・農林業など、多様な資源を元にした地域づくりを行います。

創生 3 都市・生活空間 創生

充 中心市街地の核づくり推進事業と住環境総合整備事業 3 億 841 万円



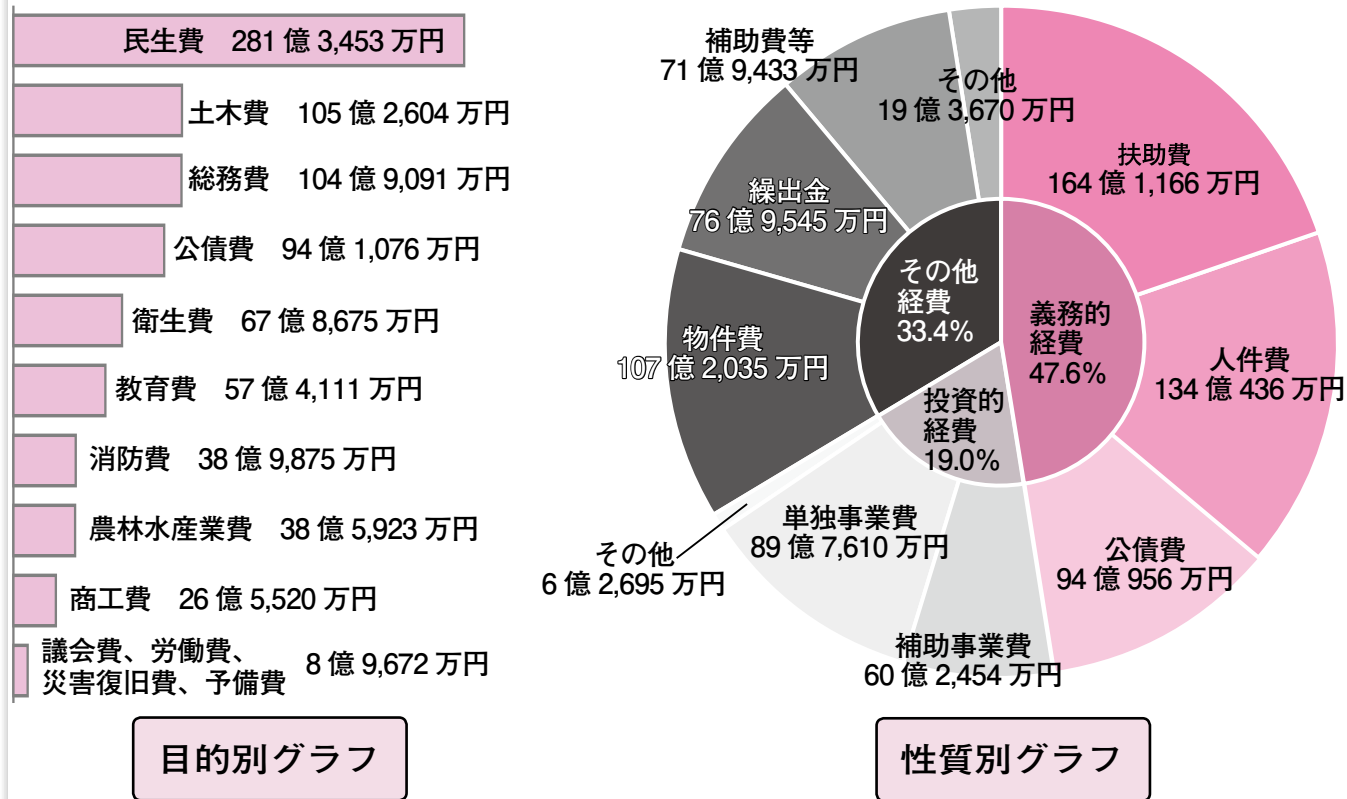
山口駅周辺の市街地再開発事業や優良建築物等整備事業に引き続き取り組みます。また、密集市街地における居住環境の整備に向け、地元関係者との協議を本格化します。

続 地域交流センターの建替え整備・改修事業 5 億 40 万円

宮野、二島、小郡、佐山、鑄銭司の各地域交流センターの建物の建替や改修工事等、小鯖地域交流センター駐車場の整備工事を実施します。

協働によるまちづくり

一般会計歳出



特別会計歳出

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。

区 分	当初予算額	対前年伸率
国 民 健 康 保 険	237 億 3,017 万円	2.5%
後 期 高 齢 者 医 療	28 億 3,831 万円	▲ 1.2%
介 護 保 険	176 億 4,398 万円	5.5%
介護サービス事業	5,346 万円	2.5%
駐 車 場 事 業	3,721 万円	0.0%
簡 易 水 道 事 業	9 億 3,051 万円	▲ 7.7%
農 業 集 落 排 水 事 業	5 億 7,842 万円	▲ 1.1%
漁 業 集 落 排 水 事 業	2,195 万円	18.3%
地 域 下 水 道 事 業	639 万円	7.4%
国 民 宿 舎	3,710 万円	▲ 24.5%
特 別 林 野	1,241 万円	▲ 15.8%
合 計	458 億 8,991 万円	2.7%

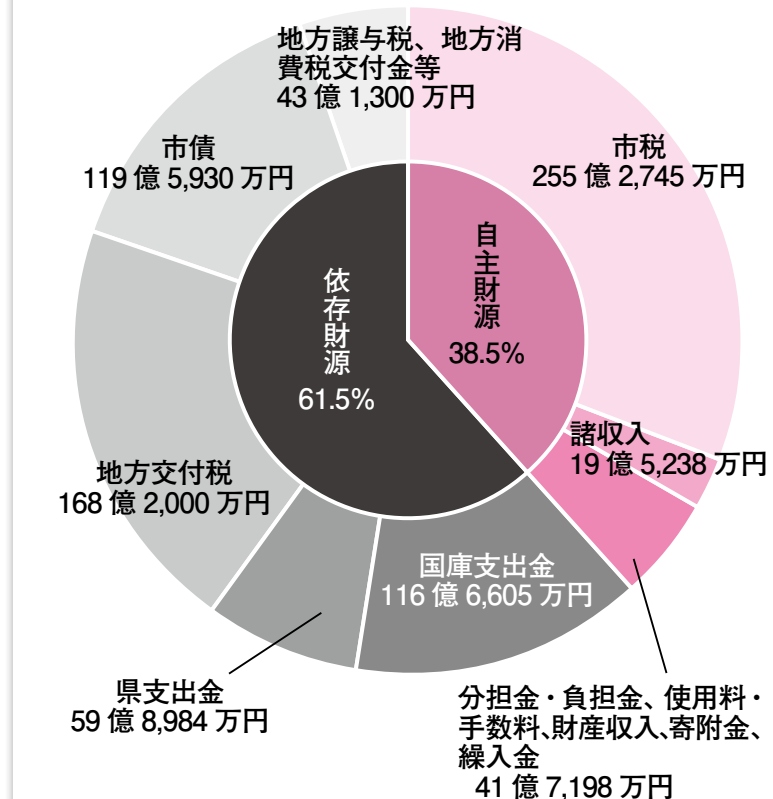
歳出のグラフ用語

義務的経費	制度により支出額や内容が定まる、削減が難しい経費
投資的経費	道路・公園・学校などの建設や、災害復旧などの経費
公債費	借入金(市債)の元金と利息を返済する経費
扶助費	生活保護・医療扶助等、法令により対象者を支援する経費

どにより、約7億9千万円増(5.0%増)となります。

投資的経費は、新山口駅ターミナルパークの整備をはじめ、大内文化ゾーンの歴史空間の再生や地域交流センターの整備など都市やコミュニティの基盤整備に取り組みほか、総合浸水対策などの防災・減災事業にも積極的に取り組むこととしていますが、計画的に進めている大型建設事業に係る事業費の減少や、平成25年7月の豪雨災害に係る補助分の災害復旧事業の完了などにより、前年度に比べ約29億7千万円減(16.0%減)となります。

一般会計歳入



歳入のグラフ用語

自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県からの交付金などの収入

歳出 一般会計の歳出

人件費は、退職者数の減少に伴う退職手当の減額などにより、約1億5千万円減(1.1%減)となります。

扶助費は、私立保育園や地域型保育の増設に係る運営費などの子ども・子育て支援制度に関する経費や障害児施設サービス給付費の増加な

歳入 一般会計の歳入

市税は、雇用環境や雇用者報酬の改善により個人市民税が前年度に比べ約1億2千万円の増収が見込まれますが、法人市民税が税制改正に伴う税率引下げの影響などにより、約5億2千万円の減収を見込んでいるため、全体では約3億2千万円減(1.2%減)となります。

地方交付税は、市税の減収や交付税措置のある公債費の増加などにより、普通交付税の増額を見込んでいるため、7億5千万円増(4.7%増)となります。

市債は、新山口駅ターミナルパークの整備や、地域交流センターの整備などの大型建設事業に係る事業費が前年に比べ減少したことや、地方財政計画に基づく臨時財政対策債の減などにより、約31億5千万円減(20.8%減)となります。

平成 28 年度

一般会計予算総額

824 億円

- ・対前年度比で 25 億 3 千万円減 (3.0%減)
- ・将来へのまちづくりへの投資(投資的経費)は約 156 億 3 千万円を確保(対前年度比で約 29 億 7 千万円減(16.0%減))
- ・財政調整基金の取り崩しは行わず、歳入規模を基本とした予算編成(平成 22 年度当初予算から 7 年連続)
- ・地方創生加速化交付金等の国補正予算に対応した補正予算(8 億 6,860 万円)を編成、当初予算と一体的に 13 カ月予算を編成



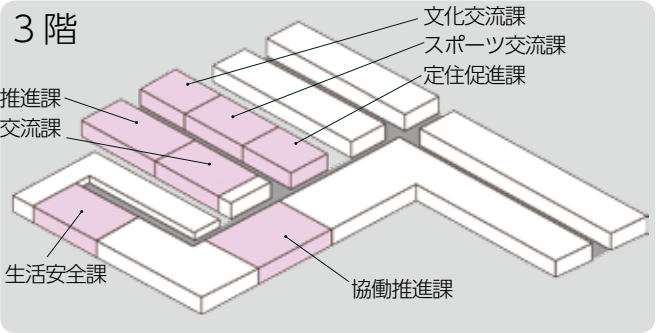
組織改編

■「ふるさと創生部」の新設

総合戦略の総合的な推進を図るための調整機能の強化と、山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略100プロジェクトを着実に推進するため、「ふるさと創生部」を創設します。

ふるさと創生部

所属・電話番号	業務内容
創生推進課（新設） ☎ 083-934-2782	地方創生の進行管理、都市の魅力創生、広域経済・交流圏の形成、大学連携等
観光交流課（旧観光課） ☎ 083-934-2810	観光の振興、観光案内所等の管理、温泉の供給等
スポーツ交流課（旧生涯学習・スポーツ振興課） ☎ 083-934-2912	スポーツ諸施策の企画および振興、体育施設等の管理等
文化交流課（旧文化政策課） ☎ 083-934-2717	文化政策の企画および総合調整、文化の振興、市史



■「高齢福祉課」「障がい福祉課」の新設

高齢者、障がい者それぞれの福祉分野の取り組みが一層重要となる中、高齢・障がい福祉課を「高齢福祉課」「障がい福祉課」に再編し、重点的に対応します。



健康福祉部

所属・電話番号	業務内容
高齢福祉課（旧高齢・障がい福祉課） ☎ 083-934-2793	高齢者の福祉、地域包括支援センター
障がい福祉課（旧高齢・障がい福祉課） ☎ 083-934-2794	障がい者（児）の福祉、地域生活支援給付、障がい者基幹相談支援センター

■「地域生活部」の新設

行政窓口サービスや地域コミュニティ支援などが、より迅速に効率的・効果的に対応できるよう地域振興部と市民安全部の組織体制を見直し、「地域生活部」として再編します。

地域生活部

所属・電話番号	業務内容
協働推進課 ☎ 083-934-2966	地域づくりの支援、自治会、地域交流センター管理運営の総合調整、生涯学習の推進、生涯学習施設の管理
定住促進課（旧定住支援室・ルーラルアメニティ推進室） ☎ 083-934-4646	定住促進、中山間および南部地域の活性化推進の企画・調整
生活安全課 ☎ 083-934-2986	空家等の対策、住居表示の実施、市営墓地および斎場の維持管理、交通安全対策、防犯、消費者行政
人権推進課 ☎ 083-934-2767	人権の推進、男女共同参画、男女共同参画センター、隣保館の管理運営
市民課 ☎ 083-934-2771	戸籍、住民基本台帳の管理運営、印鑑登録、パスポート
北部・南部振興局 各総合支所、各地域交流センター	各地域の振興、サービス提供等

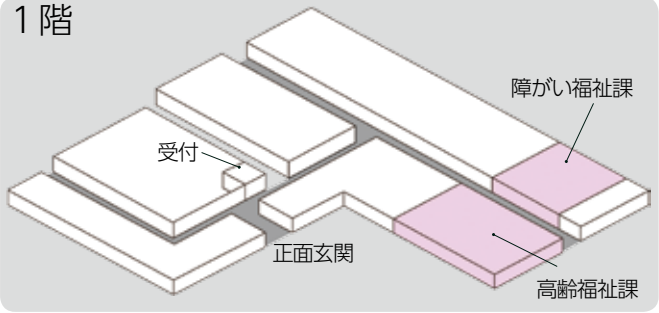
■「上下水道局」内の体制整備

料金徴収および債権管理の体制を強化するため、現行の上下水道総務課内の料金管理対策室を廃止し、「料金管理課」として設置します。



上下水道局

所属・電話番号	業務内容
料金管理課（旧上下水道総務課内料金管理対策室） ☎ 083-933-6697	水道料金および下水道使用料等の徴収



■「都市政策部」「都市建設部」の新設

都市整備部とターミナルパーク整備部を、政策的な取り組みを推進する「都市政策部」と都市基盤整備を推進する「都市建設部」に再編します。



都市政策部

所属・電話番号	業務内容
都市計画課 ☎ 083-934-2839	都市計画、景観形成、屋外広告物
交通政策課 ☎ 083-934-2729	交通政策の企画および総合調整
開発指導課 ☎ 083-934-2847	開発行為、建築物の指導
新山口駅拠点施設整備推進室（旧計画課） ☎ 083-934-2676	新山口駅北地区重点エリア拠点施設整備の推進・調整
中心市街地活性化推進室 ☎ 083-934-2923	中心市街地の活性化

■「ふるさと産業振興課」の新設

ふるさと製品のPRを関係者と連携して展開し、ふるさと納税制度などを通じて行政が積極的に営業活動を行うため、商工振興課を「ふるさと産業振興課」に改め、体制を強化します。



経済産業部

所属・電話番号	業務内容
ふるさと産業振興課（旧商工振興課） ☎ 083-934-2719	商工業・ふるさと産品等の振興、労働者福祉等

執務室の移転

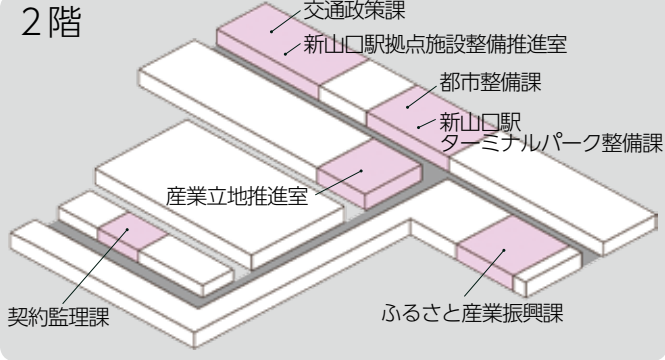
■執務室の移転

組織改編以外の、執務室の移転は以下の通りです。

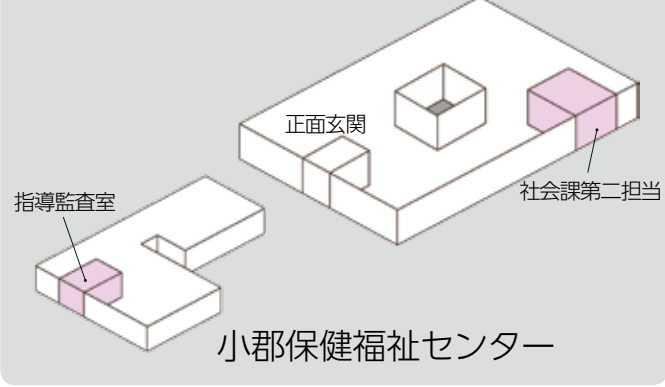
所属・電話番号	執務室
指導監査室 ☎ 083-976-4136	山口総合支所 1 階 →小郡保健福祉センター
社会課第二担当 ☎ 083-976-4381	小郡保健福祉センター →小郡総合支所 1 階
契約監理課 ☎ 083-934-2710	山口総合支所 3 階 →山口総合支所 2 階
産業立地推進室 ☎ 083-934-2813	山口総合支所 2 階（現都市整備課の場所から移転）

都市建設部

所属・電話番号	業務内容
都市整備課 ☎ 083-934-2832	市街地再開発事業、土地区画整理事業、街路・公園事業、都市緑化フェア等
新山口駅ターミナルパーク整備課（旧建設課） ☎ 083-934-2937	新山口駅ターミナルパーク整備の推進・調整
道路河川管理課 ☎ 083-934-2835	道路・河川等の維持・管理等
道路河川建設課 ☎ 083-934-2711	道路・河川の新設・改良、砂防・急傾斜対策等
地籍調査課（小郡） ☎ 083-973-2437	地籍調査の実施
建築課 ☎ 083-934-2843	市営住宅の整備・管理、市有建物の営繕
徳地・阿東・南部土木事務所	各地域の道路・河川の維持管理・整備、市営住宅の管理等



小郡総合支所 1 階



スポーツ特別表彰・ 体育協会表彰を授与

2月19日、山口総合支所で「スポーツ特別表彰」および「体育協会表彰」の合同表彰式を開催しました。
スポーツ特別表彰は、各競技の国際大会で3位以内に入賞された方に、また体育協会表彰は、山口市体育協会や加盟団体の役員としてスポーツの振興・発展に尽力された方や、各種大会で優秀な成績を収められた方にそれぞれ贈られるものです。今年度は、スポーツ特別表彰2人、体育協会表彰31人と4団体の皆さんが受賞されました。

市長は「日頃のたゆまぬ努力と研さんに對し、深く敬意を表する。本市のスポーツ競技力の向上や生涯スポーツの振興への多大な貢献に感謝する」とあいさつし、体育協会の大庭達敏会長は「近年、山口市出身選手が目覚ましい活躍を見せている。今後も『する』『みる』『ささえる』の視点から、山口市のスポーツを盛り上げていきたい」と述べられました。
これを受け、受賞者を代表



賞を受け取る大田理奈さん



市長と受賞された皆さん

大田理奈さん（フライング）は「支えてくださる皆様に感謝し、結果に満足することなく日々努力していきたい」と決意を新たにされました。
市では今後も、各競技のトップアスリートの育成や、気軽に市民の皆さんがスポーツに親しむことができる環境づくりを進めていきます。

問 スポーツ交流課
☎083・934・2912

特別支援学校で 選挙の出前授業

2月8日、山口大学教育学部附属特別支援学校で、高等部の生徒を対象に選挙の出前授業を行いました。



出前授業で模擬投票する生徒ら

この出前授業は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、選挙管理委員会が実施したもので、1年生から3年生までの生徒23人が参加。選挙の必要性や選挙権年齢の引き下げの背景など、クイズを交えた説明を受けました。その後、3人の教師ふんする市長選立候補者の演説を聞いた後、模擬投票を行いました。生徒の一人は「老いた時の事を考えたら、お年寄りに優しいまちづくりを目指す他の候補者に投票すれば良かった。事前に候補者の考えを知ることが大事だと分かった」と話していました。

問 選挙管理委員会
☎083・934・2877

萩山口信用金庫と地方 創生に係る協定を締結

1月28日、地方創生に係る新たな施策・事業を積極的に推進するため、萩山口信用金庫と地方創生に係る包括連携協定を締結しました。

市長は「互いに連携して事業展開できることは心強い。締結を契機に、地域の中小企業等の支援、若者の就業支援や雇用促進、広域観光等による地域活性化などをさらに進め、安心で快適な定住実現都市を実現したい」と述べました。



市長と小田村理事長（右）

市では今後も、地方創生の実現に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

問 創生推進課
☎083・934・2728

ご飯が華やかに はなっこりの“花”ふりかけ

秋穂地区から、山口県のオリジナル野菜“はなっこりー”の新しいかんづつ食品が誕生しました。全国的にも珍しい野菜の花を使ったこのふりかけは、特殊な製法により鮮やかな黄色がそのままのかわいらしいふりかけに仕上がっており、食卓に彩りと驚きを添えてくれます。エゴマ、ノリなども入っており、パスタにも相性抜群です。小瓶に入っているのでお土産にもぴったりですよ。



問 販売場所 道の駅「あいお」、秋穂ふれあい朝市、海眺の宿 秋穂荘、JA山口中央農産物直売所「ぶちええ菜」、ふれあいステーション DAIDO
問 問い合わせ JA 秋穂女性加工部あいおっ娘
☎083-984-2239

C571が傘寿を迎えます SL「やまぐち」号の運行開始！

「貴婦人」の愛称で親しまれるC57形1号機は今年で傘寿を迎えます。これまで丁寧なメンテナンスにより製造当時と変わらぬ美しさと力強い走りでの全国的SL愛好者から人気の高い機関車の一つです。春の息吹に車窓や沿線の行楽地で触れることができる絶好のこの時期、「貴婦人」とともに一日をゆったりと過ごされてみてはいかがでしょうか。



写真提供：吉永昂弘

問 運行日程 11月20日（日）までの土・日・祝日、ゴールデンウィーク、夏休みを中心に84日間運転（※1日1往復）
問 運行区画 新山口駅ー津和野駅（料金は区間により異なります）
問 予約 電話予約センター ☎0088-24-5489
問 問い合わせ 観光交流課 ☎083-934-2810

安心快適住まいる助成金 についてのお知らせ

リフォームにより住宅環境の向上を図られる方に、住宅改修資金を助成します。

問 要件 市内にある実際に居住しているまたは工事終了後に転入、転居しようとしている住居で、市内事業者が施工する工事が対象となります。なお、工事着手前に必ず助成申請を行い、交付決定後に工事に着手してください。

※助成申請前に工事に着手された場合は、助成対象外となりますのでご注意ください。

問 助成内容 10万円以上の住宅リフォーム工事全般（一部外構工事も含む）を対象とし、対象工事金額の10%（上限20万円）を市内の登録店舗で使える商品券で助成します。

※18歳以下の子（平成10年4月2日以降に生まれた子）を養育する子育て世帯については、助成率20%（上限40万円）となります。

問 申請期間 4月1日（金）～9月30日（金）

※予算が無くなり次第受付終了となります。先着順。

問 申請 山口商工会議所、山口県央商工会、徳地商工会
問 ふるさと産業振興課
☎083・934・2719

※詳細は、ウェブサイトで確認可



【歴史民俗資料館・鑄銭司郷土館の観覧料が変わります】4月1日から19歳未満の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒の観覧料が無料になります。問 文化財保護課 ☎083-920-4111

春の「幸せますフェスタ」



イベントが盛りだくさん！中でも全国津々浦々から参集した「おんなみこし」の練り歩きは全国的にも珍しく必見です。

問 日時 4月29日（金・祝）10時～16時
問 場所 アスピラート～防府天満宮
問 内容 おんなみこし連合渡御、カラーミッショントピック＆幸せます抽選会、パレード（マーチングバンド、コスプレ、着物）、よさこい、キッズダンス等
問 問い合わせ 幸せますフェスタ実行委員会事務局（防府商工会議所 ☎0835-22-4352・おもてなし観光課 ☎0835-25-4547）

わがまちも、となりまちも、ぐるっと再発見！

フラワーフェスタ&緑化祭

問 日時 4月24日（日）10時～15時
問 場所 ときわ公園（主会場は遊園地内）
問 内容 フラワースタンプラリー＆抽選会（先着500人）、フラワーオークション（14時から）、風船アートプレゼント（先着1,000人）、グルメ&カフェ、花の種無料配布（先着100人）等
問 問い合わせ 常盤公園管理課
☎0836-54-0551



みやの

宮野

人口：14,762人（H28.2.29時点）
ホテルが乱舞し、アユが銀鱗を躍らせる自然豊かな地域で、山あいには田園風景が広がる。山口県立大学が立地し、宮野駅を中心に賑わいと穏やかな居住環境を形成している。

休耕田が美しい菜の花畑に



まず、菜の花が一面に広がっている上の写真を見ていただきたい。この場所はかつて、雑草で荒れ果てた休耕田だったが、今では美しい菜の花が咲き誇っている。ここは宮野上にある山口ふれあい館付近。毎年4月には、なの花まつりが開催され、山あいに広がる黄色の絨毯を一目見ようと多くの人が集まる。

平成19年、現在の宮野なの花会の野村会長が「この殺風景を何とかしたい」と思ったのがきっかけだ。民間企業に草刈り等の協力を得た後、コスモスやかばちゃんなどを植えたが、管理が難しく断念。次いで菜の花を

思いついた。「花も楽しめるだけでなく菜種油も採取できる。管理もしやすいし、地域活性化に役立てられるのでは」と、知人に声をかけて宮野なの花会を結成した。当時30アールほどだった菜の花畑は、今では90アールほどまで広がった。油しほりも行い、販売するほか、まつりで振る舞う会食や山口ふれあい館の食堂で使っている。会員は高齢者が多いものの少しずつ増えてきており、負担にならないよう楽しく取り組むことで活動を継続させている。

個人活動から地域総出へ

なの花まつりは今年で6回目を迎える。まつりで使用するのぼり旗や、採取した菜種油のラベル、パンフレット等は、県立大学と連携して作成。宮野地域づくり協議会も協力するなど、地域総出の取り組みだ。さらに、他地域・他市から活動について相談を受けるほどに。何とかしたいという些細な思いの



種から一面の菜の花畑へ。宮野の山あいで、菜の花が咲き誇り、来場者の笑顔があふれる時こそ、地域住民の思いが実を結ぶ瞬間なのだ。4月3日（日）、ぜひ山口ふれあい館へ。



おごりの

小郡

人口：25,298人（H28.2.29時点）
市南部に位置し、山口県の陸の玄関口であり古くから交通の要衝として発展してきた。南北自由通路や橋上駅舎が供用開始するなど、新山口駅ターミナルパーク整備も進んでいる。

オゴリザクラ

小郡の名を冠した「オゴリザクラ」は、八重咲きの山桜で花弁が15枚前後、おしべが約50本あるという、小郡地域にしかない珍しい品種。市指定の天然記念物でもある。

昨年6月初旬、夜には蛍舞う四十八瀬川沿いの遊休農地に、熱中症予防に気を配りながら、オゴリザクラを養生する有志の姿があった。原木は樹齢150年以上の老木で、株を継承するため、おごり地域づくり協議会を中心に4年前から苗木を増やす活動が始まったのだ。ところが、他の桜と異なり、種や挿し木による増殖が困難。そのため、表紙写真から春が来た

め、他の桜を台木として原木の枝を接ぐ「接ぎ木」に取り組んでいるが、昨年は200本のうち成功は10本程度と少ない状況。種苗会社への依頼も考えたが、地域で力を合わせて増殖したいとの思いから、試行錯誤の挑戦が続く。そのような折、昨年8月25日に本市を襲った台風15号の強風により、原木が折れてしまった。幸いにも、幹の根は枯れておらず、2本の元気な若枝に原木の未来を託すこととした。これまでに増殖した苗木は、約100本。今年1月には、14本を円座の小郡運動公園に定植した。今後も株の継承とともに、整備が進む新山口駅周辺など新たな憩いの場への定植に取り組んでいく。

小郡愛のシンボル

毎年4月初旬、地域住民が日常的に関わって、保護育成と子や孫につなげることを目的に、オゴリザクラまつりが開催される。其中庵や小郡南小学校、原木などを巡るスタンラリーもある。多くの来場者で賑わう中、高校生らのボランティア活動も目を引く。同協議会の国安克行会長は「若い人にもオゴリザクラに関心を持ってもらい、守り続ける活動を通じて、小郡への郷土愛が育まれれば」と話された。これからも小郡ブランドの代名詞として、そして「小郡愛」のシンボルとして、次の世代へ大切に受け継がれることだろう。今年もまた、オゴリザクラとともに「小郡愛」が花開く。

※挿し木…枝を採って土などに挿して繁殖

中原中也賞

第21回

中原中也賞は、日本の近代詩史に偉大な足跡を残した山口市出身の詩人中原中也の業績を顕彰するために創設されたものです。

2月に行われた選考会で、全国から応募・推薦のあった174点の詩集の中から、カニエ・ナハさんの『用意された食卓』（私家版）に決定しました。

☎ 文化交流課 ☎ 083・934・2717



「用意された食卓」 カニエ・ナハ

あなたの森は夜に
音もなく移動する
永遠に忘れること
あなたの小さな
すべての日であるその上に、
それは適度に雨を与え
虫が夜、燃えている
親しい友人になるために
生まれたとき、
人々が祈りの声で
小さな葉を
ふるわせて
出て行く日は
昔の闇に続いていく

（「用意された食卓」所収「塔」より抜粋）

【受賞コメント】

詩を書きはじめた当初から、憧れ、読みつづけてきた中原中也の名前を冠した賞をいただけて、とても光栄です。その詩を読みこむうちに、いつしか親しい友人のように感じさせてくれた中原中也。彼のことを以前は「中也」と呼んでいましたが、いつからか、（私なりに）さらなる親しみをこめて「中原」と呼んでいます。中原と居酒屋でサシで吞んで喧嘩したことがあった気さえしています。今年3度目のノミネートでいただいた賞ですが、落選した一昨年と昨年、悔しさやある種のザセツ感の中で読んだ中原の詩は格別でした。寄り添っても、突き放してもくれて。再び奮い立たせてくれました。そうでした。あのこと「中也」が「中原」になったのでした。今年賞をいただけたものの、これからはっきりつまらない詩を書きでもしたら中原に叱られそうで、大変緊張しています。



カニエ・ナハさん

表紙写真から

春が来た

表紙の写真は、昨年4月初旬に取材で訪れた其中庵（小郡下郷）のオゴリザクラの様子です。曇り空ということもあり、桜の花びらの色がいつそう強調され、とても印象的な雰囲気でした。また、遠くで頭上高く見上げる男性の姿を拝見し、時折風に舞いながら満開に咲き誇る、見事なオゴリザクラにあらためて気づかされました。

本市では、

身近にあり、市内にも多くの名所があるということなどから、桜を「市の花木」としています。オゴリザクラや徳佐のシダレザクラをはじめ、一の坂川、草山公園（秋穂）、井関川（阿知須）、大原湖（徳地）の周辺など、他にも多くの桜の名所があります。



ライトアップされる一の坂川周辺

ちなみに、今号宮野地域の紹介で取り上げた菜の花は「市の花」です。ぜひ、皆さんも桜や菜の花など、身近なところや市内各地の名所に出かけて、春を感じてみてはいかがでしょうか。

☎ 観光交流課

☎ 083-934-2810

4月5月

イベントカレンダー

4/2 (土)

オゴオリザクラまつり [小郡] 実行委員会 ☎ 083-976-8588

湯田温泉スリッパ卓球大会 [湯田] 実行委員会 ☎ 083-925-6843

市長杯争奪高等学校野球大会 [宮野] スポーツ交流課 ☎ 083-934-2874

4/2 (土), 4/3 (日)

維新の郷・湯田温泉白狐まつり [湯田] 事務局 ☎ 083-941-5379



4/3 (日)

桜まつり [阿東] NPO あとう ☎ 083-956-2526

4/10 (日)

大原湖さくらロードレース大会 [徳地] 徳地地域交流センター ☎ 0835-52-0217

4/10 (日) ~ 5/7 (土)

春の久留米市田主丸植木まつり & JA全農やまぐち旬感フェスタ [佐山] 全農山口県本部 ☎ 083-988-0620

4/29 (金・祝)

きらら浜自然観察公園春まつり [阿知須] きらら浜自然観察公園 ☎ 0836-66-2030

5/2 (月) ~ 5/4 (水・祝)

山口 100 萩往還マラニック大会 [市内各所] 実行委員会 ☎ 0835-24-5444

4/10 (日) まで

企画展「山頭火句集『草木塔』ができるまで」 [小郡] 小郡文化資料館 ☎ 083-973-7071

桜日和 [徳地] 重源の郷 ☎ 0835-52-1250

4/17 (日) まで

企画展Ⅱ「中也の住んだ町-新宿」 [湯田] 中原中也記念館 ☎ 083-932-6430

5/5 (木・祝)

青空天国いこいの広場 [白石] 山口青年会議所 ☎ 083-922-7646

開催中のイベント

5/8 (日) まで

企画展「四境戦争の策源地・山口」 [大殿] 山口市菜香亭 ☎ 083-934-3312

5/31 (火) まで

狐の足あとギャラリー原田和明 オートマタ展「山口物語」 [湯田] 狐の足あと ☎ 083-921-8818



おとうさん、おかあさんといっしょ

山口市野外活動広場 (小鯖地区) [下小鯖 6590]

小鯖地域交流センター付近の小高い山 (正田山) の上にある広場です。絶景を見ながらのローラー滑り台は、一度体験すると大人も子どももやみつきになります。また、この季節は桜がきれいです。八反田のバス停から徒歩 10 分。車でお越しの場合は、駐車場の台数が少ないのでご注意ください。

☎ スポーツ交流課 ☎ 083-934-2873



本市では、こうしたチャンスをつかりと生かし、県内外の多くの方々に「山口ファン」になっていただくため、スポーツや観光でお越しになるお客様への温かいおもてなしはもちろん、各地のホームタウンとの観光や物産の交流などを通じて、地方創生の取り組みを加速していきます。レノファ山口FCの大活躍を期待しています。

山口市長 渡辺純心



柔らかな春風の心地よい季節となりました。春はスタートの季節です。新年度が始まり、新たな環境の中でスタートを切られる方も多いと思います。本市でも地方創生をはじめとする新年度の取り組みが本格的に始まります。こうした中、昨年、見事、サッカーJ3リーグ優勝を果たされ、J2にその戦いの舞台を移されたレノファ山口FCも、2月28日に開幕戦を迎え、一足早く、長いシーズンのスタートを切られました。昨年以上に、多くのサポーターが、維新スタジアムに足を運ばれ、試合を楽しまれることと思います。